

第1回 学術情報流通の情報収集に役立つサイト紹介（10月）

話題提供：図書館系情報源の紹介 カレントアウェアネス・ポータル®の取組

2021年10月19日

国立国会図書館関西館図書館協力課調査情報係

西田 朋子



目次

1. カレントアウェアネス・ポータルについて
2. カレントアウェアネス・ポータルの利用方法
3. カレントアウェアネス-Rにおける情報の収集方法



目次

1. カレントアウェアネス・ポータルについて
2. カレントアウェアネス・ポータルの利用方法
3. カレントアウェアネス-Rにおける情報の収集方法



CA Current Awareness Portal

図書館に関する情報ポータル

カレントアウェアネス・ポータル：
図書館界、図書館情報学に関する最新の情報を、
図書館員や図書館情報学の研究者にお知らせする、
国立国会図書館のウェブサイト。2006年公開。

<https://current.ndl.go.jp/>



カレントアウェアネス・ポータルは、図書館界、図書館情報学に関する最新の情報をお知らせする、国立国会図書館のサイトです。

最新ニュース「カレントアウェアネス-R」(CA-R)

- 英・JiscのWiley社との“Read and Publish”契約 —9か月が経過して— (記事紹介) - 2020-09-30
- Internet Archiveによる学術論文のためのデータベース、Internet Archive Scholar (記事紹介) - 2020-09-30
- 総務省、データサイエンス・オンライン講座「社会人のためのデータサイエンス演習」を開講 - 2020-09-29
- 【イベント】第2回J-STAGEセミナー「ジャーナルから見た研究データ：国際動向」(10/27・オンライン) - 2020-09-29
- Open Preservation Foundation (OPF)、デジタル保存に関する調査結果を公開 - 2020-09-29
- ルクセンブルク国立図書館 (BnL)、新型コロナウイルス感染症に関するウェブアーカイブプロジェクトの結果を公開 - 2020-09-29
- 日本学術会議、提言「学術情報流通の大変革時代に向けた学術情報環境の再構築と国際競争力強化」を公表 - 2020-09-29
- 一般社団法人授業目的公衆送信補償金等管理協会 (SARTRAS)、文化庁著作権課とともに「授業目的公衆送信補償金制度」の教育機関等設置者向けオンライン説明会を開催 - 2020-09-29
- 材料科学・工学分野における研究データの検索・再利用・共有の実態に関する13人の研究者へのインタビュー調査 (文献紹介) - 2020-09-29

東日本大震災 関連情報

「災害」に関する当サイトの記事 

調査研究レポート「東日本大震災と図書館」

国立国会図書館 東日本大震災復興支援ページ

地震・災害 関連情報 (レファレンス協同データベース)

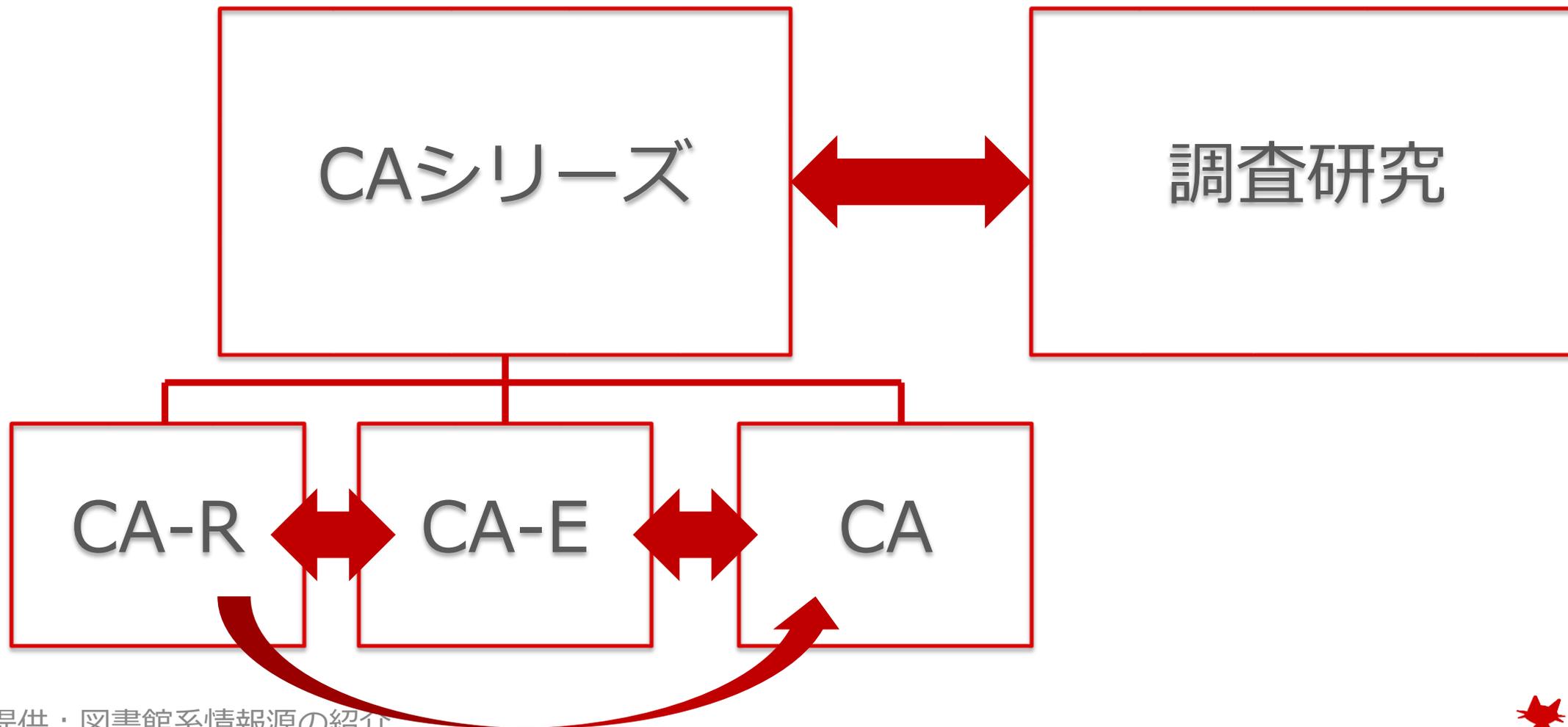
各地の図書館等の被災情報等について (外部リンク)
saveMLAK

Twitterでの情報提供を行っています。

https://twitter.com/ca_tweet



カレントアウェアネス・ポータルコンテンツ





CA-R (カレントアウェアネス-R)

性格：ブログ記事 (2006年開始)

速報ニュース CA-E、CAのネタ帳

執筆者：調査情報係 (係4人 + 非常勤調査員)

掲載頻度：毎勤務日

掲載数：1日8記事から10記事程度

= 月間約200記事

= 年間2,000記事から2,500記事程度

(累積) 約3万4,000記事 ※2021年10月時点



CA-E (カレントアウェアネス-E)

性格：メールマガジン (2002年創刊) 1記事2,000字程度
事業紹介・文献紹介・イベント参加報告

執筆者：調査情報係、当館職員、外部執筆者

配信頻度：原則隔週 (木曜日) / 配信数 約6,600アドレス

配信数：年22回 1号当たり、5記事から6記事掲載
= 年間110記事から130記事程度
(累積) 2,430記事 ※2021年10月現在
配信に合わせてポータルサイトにも掲載 (HTML)



CA（カレントアウェアネス）

性格：情報誌（1979年創刊） 30頁前後

- 一般記事（4,000字：トピックの解説）
- 動向レビュー（6,000字：トピックの近年の動向整理）
- 研究文献レビュー（10,000字：トピックの近年の研究史整理）

編集企画会議による記事案の選定

執筆者：その分野の専門家・実務家（研究者・図書館職員）

刊行頻度：季刊 ※2001年までは月刊

記事数：1号当たり、5記事前後

=年間20記事から25記事程度

（累積）2,007記事 ※2021年10月現在

刊行に合わせてポータルサイトにも掲載（PDF、HTML）



性格：図書館研究シリーズ（1960年～） 図書館調査研究レポート（2002年～）

- 国立国会図書館が果たすべき役割及び関係機関との連携協力の方向性を明らかにするための調査
- 各館が単独で実施できないような総合的または大規模な調査

執筆者：主に委託による調査（シンクタンク・研究者）

刊行頻度：原則隔年

2017年 超高齢社会と図書館

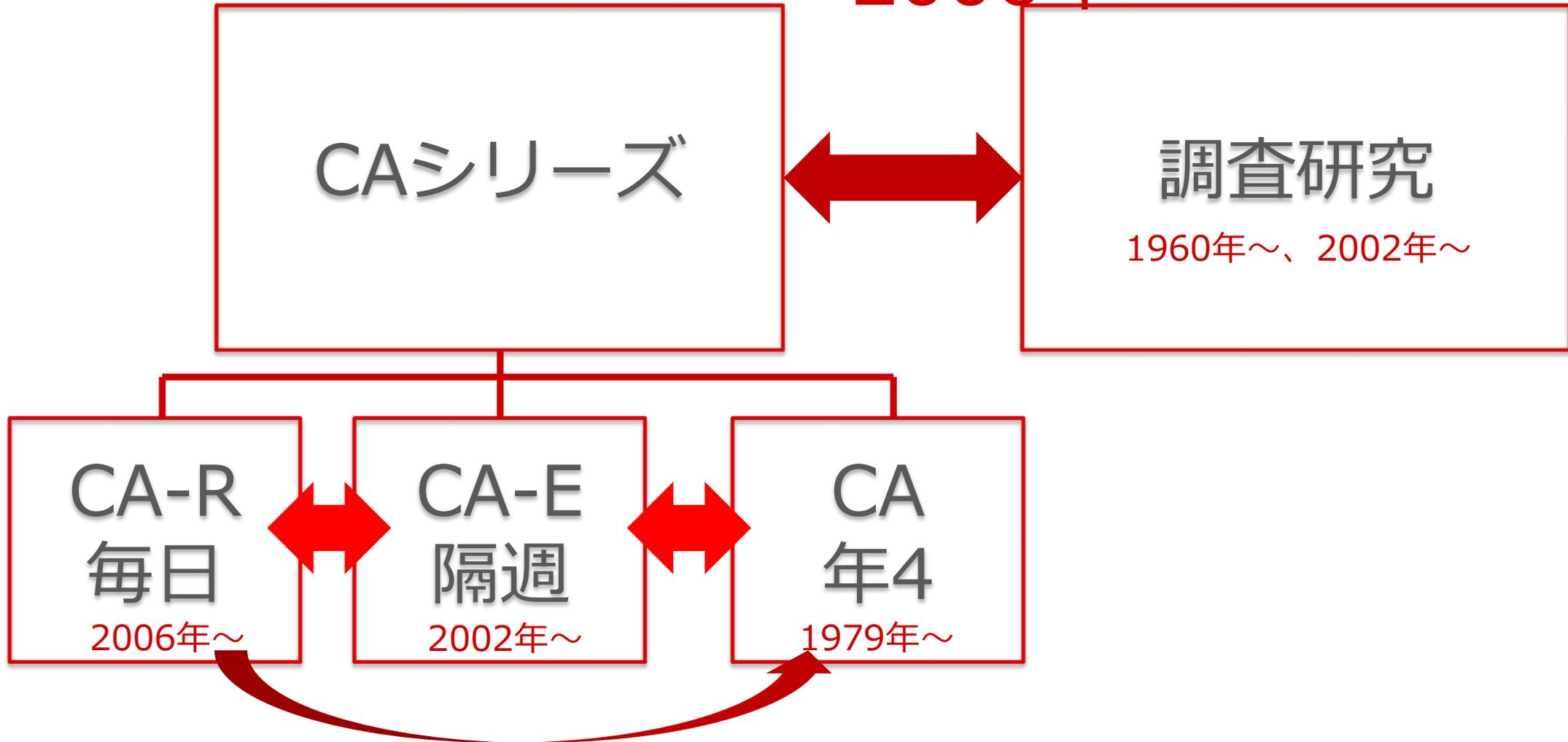
2018年 公共図書館における障害者サービスに関する調査研究

2020年 地域の拠点形成を意図した図書館の施設と機能

刊行に合わせてポータルサイトにも掲載（PDF、EPUB）



カレントアウェアネス・ポータル 2006年



目次

1. カレントアウェアネス・ポータルについて
2. カレントアウェアネス・ポータルの利用方法
3. カレントアウェアネス-Rにおける情報の収集方法



何に活用されている？

- 情報収集，業界動向把握
- 業務改善やサービス提供の参考
- 執筆，授業，講演，イベントのネタ探し
- 研究テーマに関する知見を得る
- 仕事のアイデアの源泉
- 具体例の調査
- 図書館運営委員会への提案



どんな人が利用している？

- 年齢 30代 (25.9%) , 40代 (24.4%)
- 職業 図書館員 (56.9%) , 研究者 (11.2%)
- 利用頻度 ほぼ毎日 (34.0%) 週1以上 (24.4%)
月1以上 (31.0%)
- 満足度 満足+どちらかといえば満足 (95.4%)

※2020年度調査 (2021/2/1~3/26実施) より

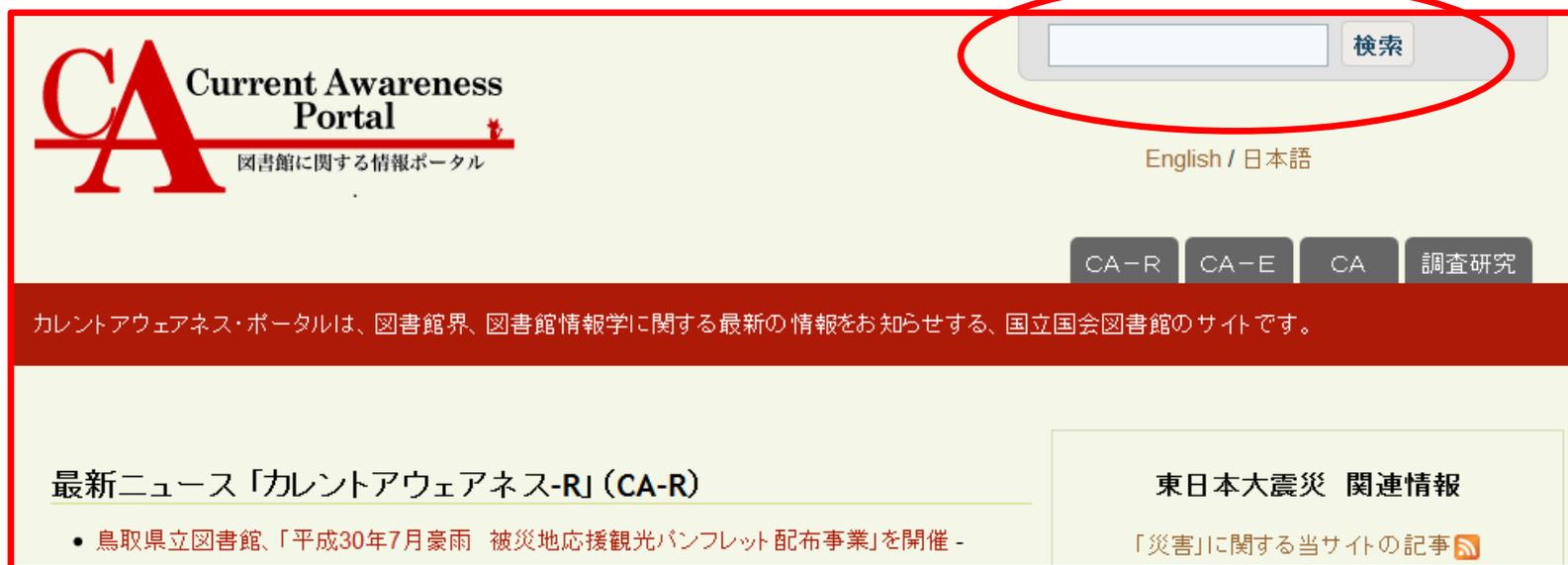


サービスの利用方法：検索

※詳しくはポータルに説明ページがあります。

https://current.ndl.go.jp/how_to_search

①検索窓



CA Current Awareness Portal
図書館に関する情報ポータル

English / 日本語

CA-R CA-E CA 調査研究

カレントアウェアネス・ポータルは、図書館界、図書館情報学に関する最新の情報をお知らせする、国立国会図書館のサイトです。

最新ニュース「カレントアウェアネス-R」(CA-R)

- 鳥取県立図書館、「平成30年7月豪雨 被災地応援観光パンフレット 配布事業」を開催 -

東日本大震災 関連情報

「災害」に関する当サイトの記事



②検索結果に対して、 右カラムで、並べ替え・絞り込みが可能！

並べ替える

- 関連性(レlevance)
- タイトル
- タイプ
- 投稿者
- 日付

記事種別で絞り込む

- カレントアウェアネス-R (738)
- カレントアウェアネス-E (107)
- カレントアウェアネス (34)
- お知らせ (31)
- 図書館研究シリーズ (5)
- 図書館調査研究レポート (2)
- その他の成果物 (1)

国・地域で絞り込む

- 米国 (207)
- 日本 (94)
- 英国 (92)
- 欧州 (65)
- カナダ (21)
- ドイツ (25)
- オランダ (19)
- スウェーデン (15)
- オーストラリア (11)
- 欧州連合 (8)

表示を増やす

並べ替え：関連性（レlevance）、日付

絞り込み：国・地域、記事種別、
テーマ、館種、組織・機関



その他：テーマ、国・地域での検索



右カラム
下方

キーワードから検索 (テーマ)
デジタル化 学術情報流通
デジタルアーカイブ 災害 電子書籍 オープンアクセス イベント 出版 図書館サービス 子ども 学術情報 資料保存 著作権 展示 読書 データベース 図書館員 地域 感染症 オープンアクセス
[続き](#)

キーワードから検索 (国・地域)
日本 米国 英国 欧州 カナダ 韓国 中国 ドイツ フランス オーストラリア オランダ ニュージーランド スペイン アジア 北米 スウェーデン アフリカ 台湾 シンガポール インド
[続き](#)



デジタル化 学術情報流通 災害 デジタルアーカイブ 電子書籍 出版 オープンアクセス イベント 図書館サービス 子ども学術情報 資料保存 著作権 読書 展示 データベース 図書館員 オープンアクセス 地域情報 電子ジャーナル 機関リポジトリ 震災 地域資料 企画 電子情報保存 電子情報資源 **災害** オープンデータ 感染症 図書館システム アーカイブ メタデータ 図書館経営 図書館建築 レファレンスサービス 図書館政策 **感染症** デジタルリポジトリ 情報検索 政府情報 貸出 インターネット 新聞 障害者サービス 情報リテラシー 研究データ 文学 研究データ 情報アクセス 目録 OPAC 図書館情報学 写真 オープンサイエンス 医学期刊 視聴覚資料 オープンソース 貴重書 日本情報 図書館財政 リポジトリ 図書館統計 ウェブアーカイブ SNS 知的自由 地図 視覚障害者 総合目録 図書館協力 リテラシー Linked Data 多文化・多言語サービス ディスカバリーインターフェース コンソーシアム Wikipedia 蔵書構築 ウェブサイト 図書館広報 目録作業 図書館評価 標準化 公文書 ネットワーク 計量書誌学 書誌情報 Web 2.0 ライセンス契約 情報政策 国際会議 プライバシー 著作権法 利用調査 Twitter 動画 録音資料 アドヴォカシー ビジネス支援 デジタル保存 Creative Commons 学術情報基盤 図書館史 相互貸借 デジタル教科書 マンガ 古典 資金調達 eラーニング 学術雑誌 ゲーム ガイドライン 児童サービス 納本制度 移動図書館 音楽資料 映像 人工知能 目録規則 資料収集 レファレンス 電子出版 典拠情報利用 地震 アウトリーチ オーラルヒストリー MARC クラウドコンピューティング ラーニングコモンズ RDA MLA連携 資料管理 情報専門職 広報 専門職制 障害者 利用者教育 アクセシビリティ 法律情報 ソーシャルメディア 地図資料 読み聞かせ 文献提供サービス 国際規格 件名標目表 デジタル資料 MOOC 政府文書 書誌 国際協力 分類 郷土資料 選書 利用者サービス 複写 児童書 WorldCat 大学出版 オーディオブック 情報ネットワーク 全国書誌 愛国者法 知的財産権 電子資料保存 生涯学習 書誌ユーティリティ eサイエンス DAISY 長期保存 モバイル 知的財産 図書館設備 情報流通 高齢者サービス セマンティックウェブ クラウド 情報インフラ 研究開



RSS

- CAコンテンツ
 - ポータル全体の新着情報
 - コンテンツ毎の新着情報
(CA-R, CA-E, CA, 調査研究)

<https://current.ndl.go.jp/about>

- アグリゲーションサービス
 - 図書館関係雑誌目次RSS集 (国内)

<https://current.ndl.go.jp/node/9811>

Twitter

@ca_tweet



目次

1. カレントアウェアネス・ポータルについて
2. カレントアウェアネス・ポータルの利用方法
3. カレントアウェアネス-Rにおける情報の収集方法



カレントアウェアネス-Rの情報源

- インターネット上の公開情報
 - ×紙媒体 ×人（電話・メール）
- 公式情報（公式ウェブサイト／SNSの公式アカウント）
 - ×図書館員個人のブログ・SNS △オンライン新聞や新聞DB
- 各記事は情報源としたURLを掲載する、
当該記事に関する情報のリンク集的な体裁
 - ※公式の情報源を確認することが可能



令和2年7月豪雨による浸水被害をうけた芦北町立図書館（熊本県）、臨時図書館を開館：熊本県立図書館が支援

Posted 2020年8月11日

2020年8月6日、熊本県の芦北町は、令和2年7月豪雨による浸水被害をうけた芦北町立図書館の臨時図書館を8月8日に開館すると発表しています。

熊本県立図書館の支援を受けてのもので、芦北町地域活性化センター内の田浦図書室に設置されます。利用には県立図書館の利用カードの作成が必要です。開館期間は12月27日までが予定されています。

報道によると、夏休みに入る町内の小中学生に読んでもらうため、県立図書館から運び込んだ約3,000冊のうちの6割は絵本など子ども向けの図書となっているほか、県立図書館では、新町立図書館の開館に向けての図書購入費の寄付や新古書の寄贈などを募っているとのこと。

図書館からのお知らせ（芦北町,2020/8/6）

<http://www.ashikita-t.kumamoto-sgn.jp/www/contents/1596757424263/index.html>

絵本など3000冊搬入、臨時図書館が8日開設 蔵書8割が冠水 熊本・芦北町（毎日新聞,2020/8/7）

<https://mainichi.jp/articles/20200807/k00/00m/040/173000c>

参考：

芦北町立図書館(熊本県)、令和2年7月豪雨による浸水被害のため蔵書の多くが水損

Posted 2020年7月13日

<https://current.ndl.go.jp/node/41484>

八代市立図書館（熊本）、令和2年7月豪雨被災地域の住民を対象として期間限定で「八代市電子図書館」を利用可能に

Posted 2020年7月31日

<https://current.ndl.go.jp/node/41630>

各図書館

各図書館の設置母体：地方公共団体・教育委員会・大学等 …

図書館関連団体等：日本図書館協会、地域別・館種別図書館協会 …

中央省庁：内閣府、総務省、文部科学省、文化庁 …

その他（類縁機関）：

(独)国立博物館機構、日本博物館協会、(独)国立美術館、全国美術館会議、
全国歴史資料保存利用機関連絡協議会、歴史資料ネットワーク …

図書館情報学系雑誌： 図書館関係雑誌目次RSS集

<https://current.ndl.go.jp/node/9811>

参考）図書館関連メディア： STI Updates、HON.jp …



国際図書館連盟（IFLA）

国別・地域別・館種別図書館協会

米国図書館協会、英国図書館情報専門家協会、豪州図書館協会、
欧州図書館・情報・ドキュメンテーション協会連合
北米研究図書館協会 …

国立図書館

米国議会図書館，英国図書館，カナダ国立図書館・文書館 …

図書館監督官庁

英・Libraries Taskforce，仏・文化省…

関連企業・団体

IIPC, OCLC, RDA, ORCID, DPLA, Europeana, EIFL, PeerJ, W3C, Internet Archive, DAISYコンソーシアム, NISO, NAPLE, …

図書館情報学系雑誌

IFLA Journal, College & Research Libraries, Library Quarterly, Library Journal

参考) 図書館関連メディア

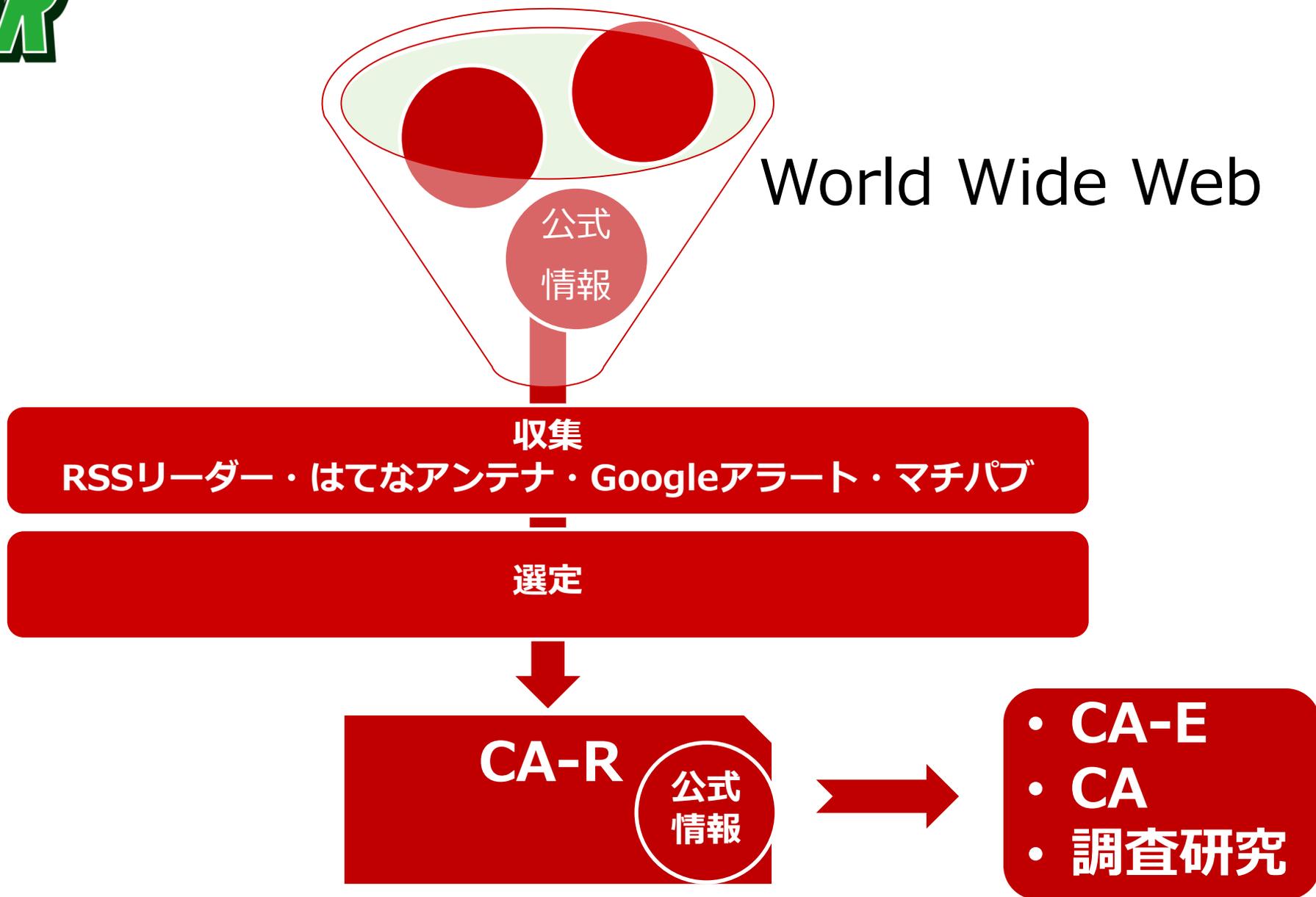
LJ infoDOCKET (Library Journal) , Day in Review, Open Access Tracking Project, Public Libraries News, Library Technology Guides industry news report, ACCESS, Documentary Heritage News …



情報収集のためのツール

- RSSリーダー（フィードアグリゲーター）
登録したウェブサイトのRSS等による更新情報を収集
- はてなアンテナ <https://a.hatena.ne.jp/>
登録したウェブサイトを更新順に表示
- Googleアラート <https://www.google.co.jp/alerts>
登録した単語でGoogleにおける新しい検索結果が見つかった際に
RSSで通知
- マチパブ <http://machi.jpubb.com/>
地方公共団体のプレスリリースを集約したウェブサイト

CA-Rの記事化の流れ



特徴

■ 長所

- ・ 速報性
- ・ インターネット上で閲覧可能な公式情報に基づく記事
- ・ 海外事例が豊富

■ 短所

- ・ 非網羅性
- ・ インターネットを確認できない情報は不掲載
- 独自のウェブサイトがない学校図書館、議会図書館等の情報が少ない

⇔ saveMLAK・日本図書館協会等、他媒体による情報発信との
相互補完



- 堤恵. クローズアップNDL (第13回) 「カレントアウェアネス-R」で図書館のいまを知る. 図書館雑誌. 2009, 103(7), p. 460.
- 図解 国立国会図書館のしごと『カレントアウェアネス』のしくみ. 国立国会図書館月報. 2010, (589), p. 14-15.
- 依田紀久, 林豊, 菊池信彦. カレントアウェアネス・ポータルを“刻む”: 情報収集活動と未来へのアイデア. カレントアウェアネス. 2013, (315), CA1788, p. 5-9.
- 村上浩介. 『カレントアウェアネス』50年に向けての期待. カレントアウェアネス. 2019, (340), p. 10-11.



ご清聴ありがとうございました。

Twitterのフォロー

 @ca_tweet

RSSの登録

 <https://current.ndl.go.jp/rss.xml>

をお願いします。

カレンちゃん

